

Apogee 分光放射計  
CAP-SS-110 / 120

## 概 要

Apogee 分光放射計は経済的でありながら、優れた形状による、入射角特性、精度、耐久性に優れた製品です。記録はPCで行います。

コンパクトな大きさでありながら、3nm の波長分解能を実現しています。

## 特 徴(共通)

- 340-820nm、635-1100nm の 2 機種 タイプ
- フィールドでの利用が可能(省電力、耐候性)
- 視野角(FOV) 150°/25°のオプション

CAP-SS-110  
CAP-SS-120

## 仕 様

センサー種類	分光放射計	
型 式	CAP-SS-110	CAP-SS-120
特 徴	340-820nm	635-1100nm
波長	波長測定間隔 1.0nm / 波長分解能 3.0nm / 波長精度±0.5nm / 波長再現性±0.2nm	
A/D分解能	14bit	
S/N比	1500:1	
迷光(Stray light)	0.25 % at 590 nm	0.25 % at 850 nm
暗電流(Dark Noise)	3 counts	
積分時間	10ms~10s	
直 線 性	<1% または <0.5%	
測定感度	380nm 以上の波長の最大感度の 10%以上	1030nm 以下の波長の最大感度の 10%以上
測定再現性	<1.0% (400nm 以上の波長)	<1.0% (1020nm 以下の波長)
方向応答特性	±5% (@天頂角 75°)	
視 野 角	180度(上向き)、25° または、150° (下向き)	
温度特性	-0.1±0.1%/°C	
校正の不確かさ	±5% (uncertainty of calibration)	
消費電力	測定中: 90mA	測定中以外: 12mA USB: 190mA
通信電源	1W(USB)	
I/F ケーブル	PC用 USB:5m	
ソフトウェア	Apogee Spectrovision 付属(windows compatible, XP 以後: Mac compatible 10.9 以後)	
動作環境	-20~+70°C 0-100%RH	
外形寸法/重量/ケーブル	50.8W x 38.1D x 89.3H mm / 300g / 5m(標準)	
オプション	パイプ取付金具 CAP-AM-110	

## 特 徴

本器は回転テーブルにより分光放射などの測定器を屋外で上下に反転・正転させる装置です。回転テーブルを持つ機構部と回転動作を制御する遠隔制御盤から構成されています。反転・正転操作はデータロガーなどから接点を送ることにより可能です。回転テーブルによりひとつの放射計を上向き・下向きにして入射光・反射光を測定することにより器差のないデータが得られます。また、上下に2台設置する場合に比べてコストとメンテナンスの削減が図れます。上下に別のセンサー(例、日射計と長波計)をつけることにより、いっぺんに2通りの反転計測が可能になります。

## 仕 様(機構部)

対応センサー	外形 250mm 以下、重量 5kg 以下の測器
回転方向	測器側からみて反時計回りに 180 度
重心位置の調整	回転軸に対する重心位置の調整が可能(調整範囲:100mm)
大 小	寸法:全長 1010mm、幅:150(カバー部)、高さ:95(カバー部)
回転テーブル大きさ	幅 :250(回転テーブル) 高さ:126(回転テーブル)
重量/ケーブル	11kg / 5m(標準) 10m 最大

## 仕 様(遠隔制御盤)

電源/大きさ/重量	AC100 185W /幅 500,高さ 300,奥行 200(背板・ケーブル含まず) /16kg(背板・ケーブル含む)
取付方法	背板及びアルミクランプによりφ50のパイプに取付可能

放射計自動回転装置  
CHS-AR01